

# 広報ふたば



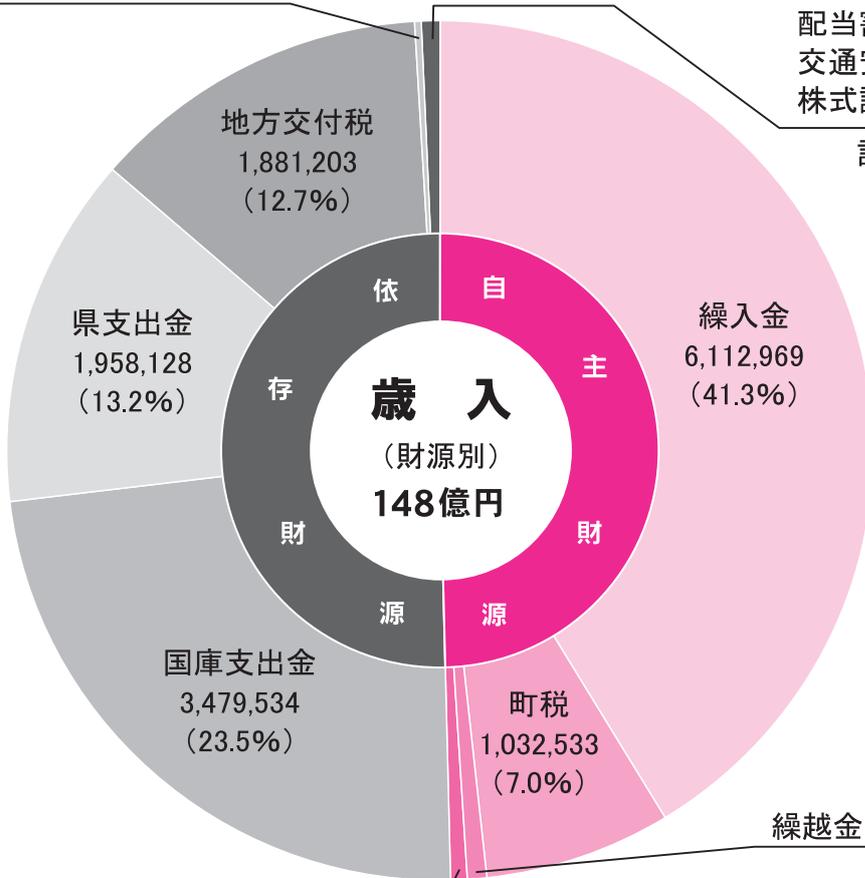
一般会計当初予算額は前年度対比36億円（32.1%）増の148億円となりました。

国民健康保険特別会計などの6特別会計の予算額が27億871万6千円となり、一般会計と特別会計の総額は、175億871万6千円となりました。

## 歳入の内訳

(単位：千円・( )内は構成比)

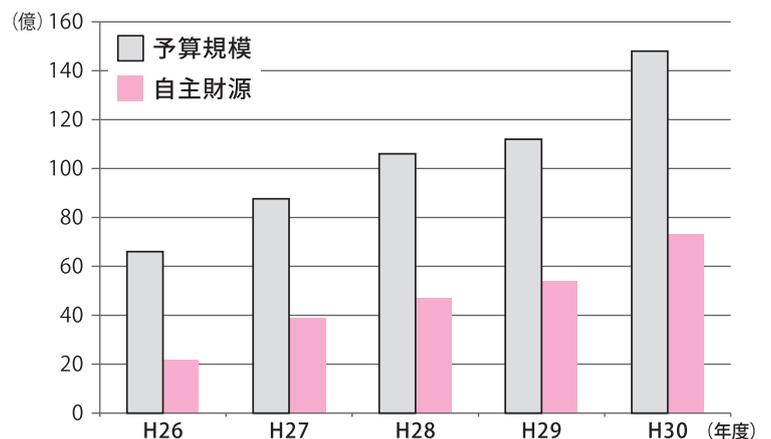
地方譲与税 36,312(0.2%)



|             |                |
|-------------|----------------|
| 地方消費税交付金    | 91,655         |
| 自動車取得税交付金   | 9,139          |
| 利子割交付金      | 599            |
| 地方特例交付金     | 500            |
| 配当割交付金      | 418            |
| 交通安全対策特別交付金 | 250            |
| 株式譲渡所得割交付金  | 100            |
| 計           | 102,661 (0.7%) |

|          |               |
|----------|---------------|
| 諸収入      | 47,372        |
| 財産収入     | 45,354        |
| 使用料及び手数料 | 3,919         |
| 分担金及び負担金 | 8             |
| 寄附金      | 7             |
| 計        | 96,660 (0.7%) |

## 一般会計当初予算規模の推移

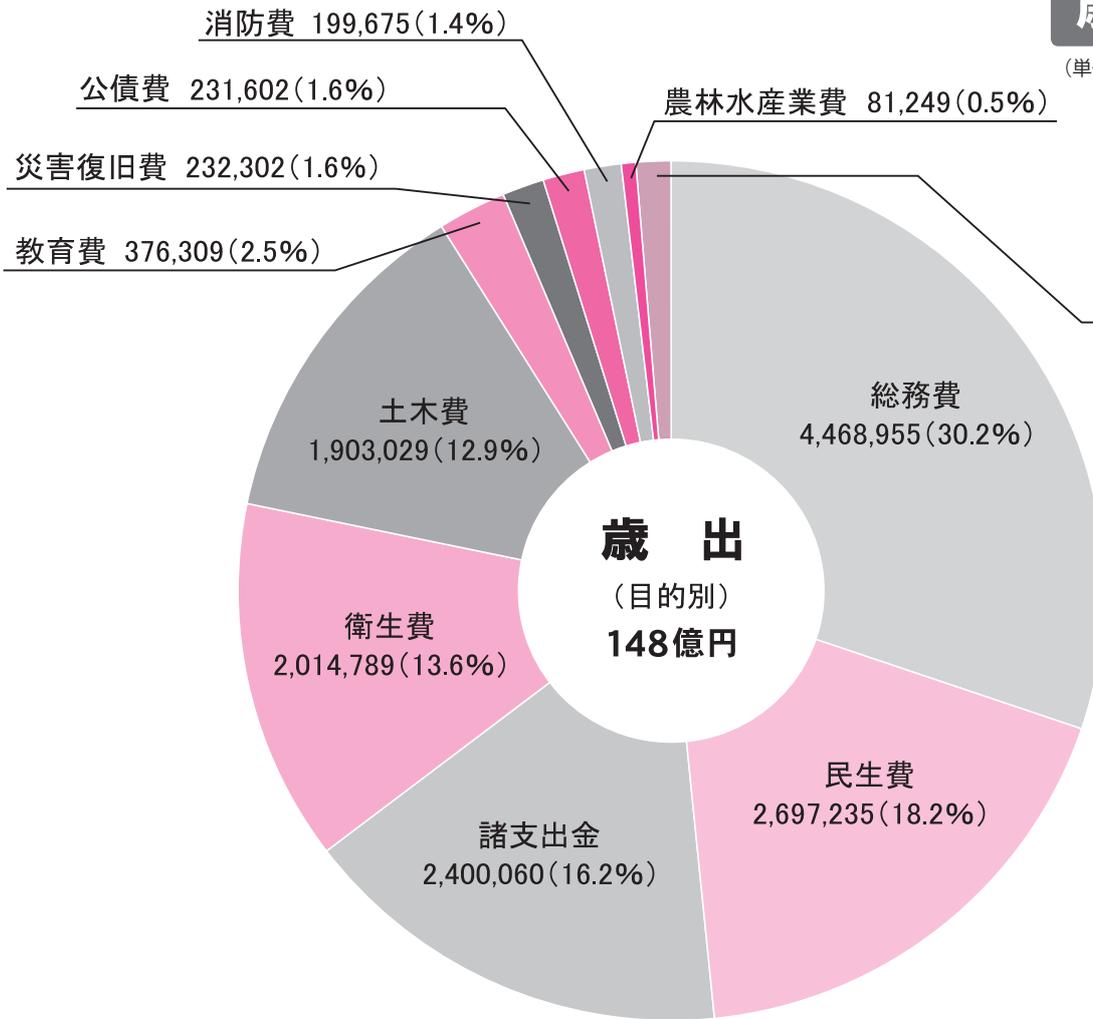


# 平成30年度の当初予算が決まりました

## 歳出の内訳

(単位：千円・( )内は構成比)

|     |                   |
|-----|-------------------|
| 商工費 | 65,474            |
| 議会費 | 60,923            |
| 予備費 | 68,388            |
| 労働費 | 10                |
| 計   | 194,795<br>(1.3%) |



### 地方消費税交付金(社会保障財源分)の用途について

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%に引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てることとされています。平成30年度双葉町一般会計予算における社会保障施策関連経費への充当は、社会福祉事業15,733千円、社会保険事業16,060千円、保健衛生事業5,947千円の予定となっております。

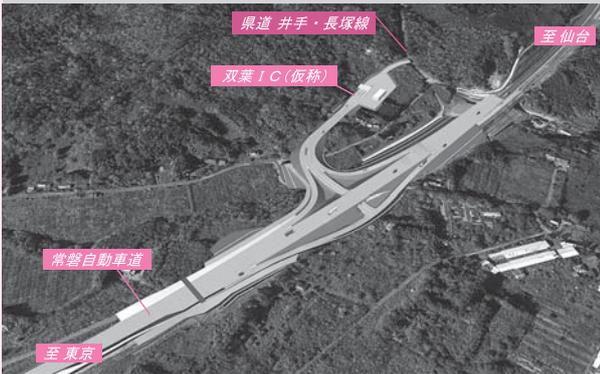
### 平成30年度双葉町特別会計当初予算 (千円)

| 会 計          | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 差 額      | 比 較    |
|--------------|-----------|-----------|----------|--------|
| 国民健康保険特別会計   | 1,286,879 | 1,578,338 | ▲291,459 | ▲18.5% |
| 公有林整備事業特別会計  | 4,108     | 4,632     | ▲524     | ▲11.3% |
| 公共下水道事業特別会計  | 244,572   | 260,920   | ▲16,348  | ▲6.3%  |
| 工業団地造成事業特別会計 | 2,164     | 2,164     | 0        | —      |
| 介護保険特別会計     | 1,068,117 | 1,040,337 | 27,780   | 2.7%   |
| 後期高齢者医療特別会計  | 102,876   | 71,286    | 31,590   | 44.3%  |
| 計            | 2,708,716 | 2,957,677 | ▲248,961 | ▲8.4%  |

# 主要事業について

## インフラ整備

双葉IC(仮称)の完成イメージ(山側からの鳥瞰)



掲載した図面は設計のイメージを示すものであり、詳細部分について実際と異なる場合があります。

- 常磐自動車道追加インターチェンジ整備事業  
..... 1,441,250千円
- 中田・観音堂線測量設計等業務 ... 46,000千円
- 町道等環境整備事業 ..... 38,000千円
- 橋梁点検業務 ..... 44,000千円
- 光ファイバーケーブル移設等事業  
..... 37,100千円

## 生活支援

- 生活サポート補助金事業 ..... 797,680千円
- 双葉町次世代支援補助金事業 ..... 20,800千円
- 就園就学援助 ..... 49,689千円



## 交流支援

- 行政区総会開催助成金事業 ..... 1,360千円
- 町外拠点交流イベント事業 ..... 3,500千円
- 敬老会事業 ..... 4,986千円
- 町民交流施設運営事業 ..... 23,671千円
- 集まれふたばっ子事業 ..... 7,996千円
- 絆スポレクふたば補助金事業 ..... 4,346千円



## 健康・福祉



- 高齢者等サポート拠点設置事業 ... 75,961千円
- 総合健康診査業務 ..... 29,141千円
- 予防接種業務 ..... 15,829千円
- 尿による内部被ばく検査業務 ..... 4,709千円
- 甲状腺検査業務 ..... 1,925千円

# 平成30年度

## 中野地区・駅西地区拠点整備

### ・中野地区

中野地区復興産業拠点整備事業  
..... 2,352,122千円

### 中野地区復興産業拠点の整備イメージ



太陽光発電設備導入調査等業務 ... 16,356千円

### ・駅西地区

双葉駅西地区住宅団地等整備事業  
..... 183,091千円

双葉駅西地区復興拠点物件調査・補償算定業務  
..... 230,000千円

双葉駅自由通路等整備事業 ... 361,060千円



※写真は平成29年4月に撮影した駅西地区です。

## 防犯防災・鳥獣被害対策

双葉町内防犯・防災パトロール業務  
..... 282,000千円



※写真は平成25年度に撮影したものです。

防犯・防災総合システム事業 ... 222,002千円  
Jアラート連携事業 ..... 26,100千円  
有害鳥獣被害対策事業 ..... 8,547千円

## 農林業・商工

宮農再開支援事業 ..... 11,699千円

双葉町の祭り・イベント事業補助金  
..... 5,258千円

双葉町観光復興再生事業補助金 ..... 7,239千円



## 町民の皆さまへ

双葉町いわき事務所協の街路樹のハナミズキの花も咲き始めました。

3月29日、復興公営住宅勿来酒井団地敷地内において「双葉町サポートセンターひだまり」の開所式を行いました。同施設は、町民の方々の心身の健康維持及び町民同士の絆づくりや周辺地域の皆さまとのコミュニティ形成のため、生きがいづくり事業や交流サロン活動、地域ボランティアとの交流などを行ってまいります。

新しい年度のスタートとなる4月2日、いわき事務所において職員辞令交付式を行いました。新規採用職員5名、福島県より派遣職員、他自治体からの派遣職員が加わり、平成30年度の業務を開始いたしました。新たに加わった職員の中には、双葉町と直接のゆかりがない方もおりますが、震災がなければこのような出会いはなかったのではないかと感慨深く感じております。

さらに、今年度は新たに神奈川県、茨城県石岡市から、また引き続き富山県黒部市、新潟県柏崎市、福井県敦賀市、美浜町、茨城県北茨城市、かずみがうら市より町の現状をご理解いただき、町の復旧・復興と町民の皆さんの生活支援などの課題解決のために職員を派遣していただきました。改めて厚く御礼を申し上げます。

職員に対しては「今年度は町の復興の具現化元年と位置づけ情報共有や課同

士の連携を密にし、復旧復興に全力で取り組むとともに、町民の皆さまの生活再建に引き続き尽力してほしい」と訓示したところであります。

4月6日には満開のサクラの中、いわき市錦町の仮設校舎で小・中学校の入学式が行われました。小学生8名、中学生4名が緊張した面持ちで新たに入学されました。引き続き、ふたば幼稚園の入園式が仮設園舎で行われ、新しく3歳と5歳の4名の園児が入園いたしました。入学・入園式には保護者の皆さま、多くの来賓の方々のご出席を賜りました。本年度は、いわき市に町立学校を再開してから最多の52名の園児、児童、生徒が1年間学ぶこととなりますが、将来の双葉町の復興を担う子どもたちを双葉町の学校でしっかりと育てるため、少人数教育ならではのきめ細かい特色ある教育を実践し、個に応じた教育を一層充実させてまいりますと考えております。

端午の節句も間近となり、真っ青な空に悠々と泳ぐ鯉のぼりを見るたびに、元気な子どもたちの姿を重ね合わせ、子どもたちの未来に期待が一層高まります。

4月13日には双葉郡立勿来診療所が復興公営住宅勿来酒井団地敷地内に開所いたしました。週2日、内科と歯科の診療となりますが、町民の皆さんの健康管理の一翼を担っていただけるものと考えております。

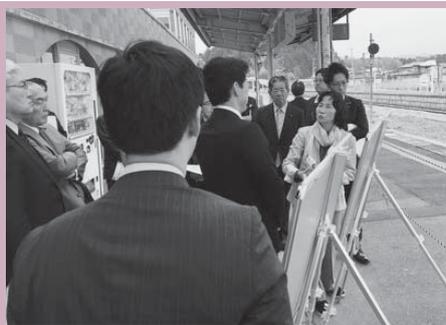
双葉町長 伊澤 史朗

## 町内視察が行われました

### 4月7日 井上義久公明党幹事長町内視察



### 4月11日 衆議院環境委員会 双葉町特定復興再生拠点区域 解体・除染工事視察



# 双葉町サポートセンターひだまり開所式

— 復興公営住宅勿来酒井団地内 —

3月29日、高齢者等サポート拠点となる双葉町サポートセンターひだまりの開所式が挙行されました。式には国、県、町の関係者が来賓として列席しました。

伊澤史朗町長が式辞を述べ、岩本久人町議会副議長、阿部雅人いわき地方振興局長、吉田栄光県議会議長から祝辞を賜り、テープカットのセレモニーを行いました。

式典の後、伊澤町長は「福島県内でこのようなサポート施設がある復興公営住宅は、他にないのではないかと思います。双葉町に戻るまで安心して過ごしていただけるよう支援していきます」と述べました。その後、内覧会が行われ、列席者は双葉町社会福祉協議会担当職員の家内でセンター内を見学しました。



テープカット



テラス側



式辞



内覧会

## 双葉町社会福祉協議会本部事務局が移転しました

平成30年4月1日より、双葉町社会福祉協議会本部事務局（いわき市東田町）とサポートセンターひだまり（いわき市南台）が、双葉町サポートセンターひだまり（復興公営住宅勿来酒井団地内）に移転しました。

住所、電話番号、業務内容は下記のとおりです。

### ● 双葉町社会福祉協議会 本部事務局

**住 所** 〒979-0142 福島県いわき市勿来町酒井青柳14-5

**電 話** 0246-84-6725 **FAX** 0246-84-6728

**業務内容** 法人運営、地域包括支援センター、デイサービス、生活支援相談員業務、他

## ～教育長メッセージ～

### 夢と希望のある「学び」へ

4月6日（金）町立ふたば幼稚園の入園式並びに双葉南・北小学校、双葉中学校の合同入学式が行われました。幼稚園児9名、南・北小学校31名、中学校12名で合計52名の子どもたちの元気な声が校舎内に響き渡り、順調に教育活動がスタートいたしました。学習に運動に仲間と楽しく取り組んでおりますが、約1カ月が過ぎて子どもたちも疲れが出てくる時期です。学校でも健康面や集団生活における困りごと等について、丁寧に取り組みをしながら対応してまいりたいと思います。

子どもの発達段階（成長期）に応じた関わり方で次のような言葉があります。「手を離して、目を離さず。目を離して、心離さず」自立心を育成する上で、親離れや子離れをバランス良く、子どもに応じたタイミングで築きあげることが大事です。学校と家庭との情報共有を密にしながら子どもたちの成長を見守ってまいりたいと思います。また、以前にお知らせしたとおり小・中学校の学校給食は、いわき市立勿来学校給食共同調理場からの提供によりおいしくいただいております。今後とも幼・小・中ともに食育に力を入れ、栄養バランスはもちろん、心と身体の調整力の育成に取り組んでいきたいです。また、生涯学習に係る各自治会や婦人学級におきましても、計画的に開級式が開催され新年度の組織並びに年間計画が策定されスタートいたしました。自治会長及び学級委員長のリーダーシップのもと有意義な活動・交流となりますよう一年間よろしくお願いいたします。なお、町立学校教職員の新体制については、今月の広報紙への掲載のほか4月2日付けで町公式ホームページに掲載してあります。今後とも町立学校へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

### 交通安全のための反射材グッズ贈呈式

4月3日、浪江地区交通三団体の方々、ふたば自動車学校の長沼克往様、双葉警察署浪江分庁舎の渡邊諭警部、鈴木健之巡査長の3名が来所され、下記に示す交通安全のための反射材グッズの贈呈がありました。子どもたちはもちろん、お年寄りの方、家族の皆さんにも活用頂き交通安全への意識を高め、交通事故防止に役立てて欲しいとお話がありました。早速、児童・生徒の皆さんに届け活用していただいております。

誠にありがとうございました。



- 新入学児童 …………… ランドセルカバー、防犯ブザー
- 小学生 …………… ディズニーキャラクター反射材、リストバンド（小）
- 中学生 …………… リストバンド（大）、エコバッグ
- 全児童・生徒 …………… 反射材シール、クリアファイル

双葉町教育長 館下 明夫

## 双葉町立小・中学校教職員の 人事異動のお知らせ

### お世話になりました

＜双葉南小学校から転出された先生方＞ 敬称略

| 職名 | 氏名    | 転出先等       |
|----|-------|------------|
| 校長 | 菊池 泰高 | いわき市立磐崎中学校 |

＜双葉北小学校から転出された先生方＞ 敬称略

| 職名   | 氏名    | 転出先等       |
|------|-------|------------|
| 教頭   | 高田 昌幸 | 福島県教育庁文化財課 |
| 養護教諭 | 吉野 裕子 | いわき市立菊田小学校 |

双葉町立小・中学校の先生方の人事異動がありましたので、お知らせいたします。

長年、本町の学校教育及び教育行政にご尽力いただきましたことに対しまして心より感謝申し上げます。

＜双葉中学校から転出された先生方＞ 敬称略

| 職名 | 氏名    | 転出先等           |
|----|-------|----------------|
| 教頭 | 藤川 治洋 | いわき市立草野中学校     |
| 教諭 | 菅野 陽子 | 富岡町立富岡第一中学校    |
| 教諭 | 鈴木 美和 | 矢祭町立矢祭中学校      |
| 講師 | 矢内 優  | 鮎川村立鮎川中学校（新採用） |

## 平成30年度 双葉町立幼稚園・小・中学校教職員

人事異動により、平成30年度の双葉町立幼稚園、小・中学校教職員が次のように配置されましたのでお知らせいたします。

＜ふたば幼稚園＞

| 職名    | 氏名    | 備考        |
|-------|-------|-----------|
| 園長    | 泉田 淳  | ※双葉南小学校兼務 |
| 副園長   | 石井 智明 | ※双葉南小学校兼務 |
| 主任教諭  | 吉津 望美 |           |
| 副主任教諭 | 山田 綾子 | 新採用       |



### お世話になります

＜双葉南小学校＞

| 職名   | 氏名    | 備考            |
|------|-------|---------------|
| 校長   | 泉田 淳  | 浪江町立浪江小学校より昇任 |
| 教頭   | 石井 智明 |               |
| 教諭   | 吉田 智子 |               |
| 教諭   | 関口百合子 |               |
| 教諭   | 佐々木裕太 |               |
| 講師   | 伊達 香織 |               |
| 養護教諭 | 猪狩 優子 |               |

＜双葉北小学校＞

| 職名   | 氏名    | 備考            |
|------|-------|---------------|
| 校長   | 堀内 弘志 |               |
| 教頭   | 廣居 亮  | 福島市立平野小学校より昇任 |
| 教諭   | 星 千尋  |               |
| 教諭   | 中畑 真  |               |
| 教諭   | 高玉梨枝子 |               |
| 教諭   | 日和田貞子 | 再任用           |
| 養護教諭 | 永山 有美 | 大熊町立熊町小学校より転任 |
| 主事   | 小沼 綾奈 |               |
| 栄養技師 | 安瀬 英未 |               |

＜双葉中学校＞

| 職名    | 氏名    | 備考             |
|-------|-------|----------------|
| 校長    | 目黒 信浩 |                |
| 教頭    | 柳沼 敏文 | 川内村立川内中学校より転任  |
| 教諭    | 畑中 豊  |                |
| 教諭    | 伊藤 要子 |                |
| 教諭    | 小泉 尚久 |                |
| 教諭    | 小野美佳子 |                |
| 教諭    | 蓬田 信裕 |                |
| 教諭    | 小泉 久枝 | 二本松市立安達中学校より転任 |
| 教諭    | 原田 聡  | いわき市立植田中学校より転任 |
| 非常勤講師 | 鈴木 久絵 | 原籍校：広野中学校      |
| 主査    | 遠藤美保子 |                |

＜1園3校共通＞

| 職名         | 氏名           | 備考  |
|------------|--------------|-----|
| 英語指導主事     | フィリップ ジェリーマン |     |
| 英語指導主事     | アンソニー バラード   |     |
| 学習支援員      | 添田久美子        |     |
| 学習支援員      | 鈴木 未央        | 新採用 |
| スクールカウンセラー | 比佐 淳一        |     |
| 用務員        | 菊地 安         |     |

入学おめでとうになります

# 町立小・中学校 入学式

平成30年度の町立小・中学校入学式が町立学校仮設校舎体育館で4月6日に挙行されました。式が始まると保護者や教職員、来賓の方々が見守る中、少し緊張した様子で新入生が入場しました。国歌斉唱に続き、新入生呼名では、南小学校の5人、北小学校の3人、中学校の4人の新入生が一人ひとりしっかりと呼名を受けました。続いて、堀内弘志北小学校長が「先ほどの元気な返事を聞いて、皆さん一人ひとりの小学校で頑張るぞ、という気持ちが伝わってきて嬉しくなりました。小学生はいさつ、返事、後片付けができる子になってください。中学生は今日から始まる中学校生活の中で、自分ができる努力を惜しまず、努力をした人だけが味わえる感激を味わってください。皆さんならできると信じています」と式辞を述べました。続いて館下明夫教育長が教育委員会告辞を、伊澤史朗町長、岩本久人町議会副議長が祝辞を述べました。歓迎のことばでは北小学校6年の渡部勇くんが小学校在校生を代表して「双葉の小学校のすてきなところはみんなが優しくてみんなが仲良しなところです。休み時間はいつも外や体育

館で遊んでいます。1年生の皆さんも一緒に遊びましょう」と述べ、中学校在校生を代表して3年生の高湊士くんが「双葉中学校は生徒数は少ないですが先生方が一つ一つのことを丁寧に入れてくれます。みんなを力に合わせて充実した学校生活にしていきたいと思います」と述べました。新入生を代表して脇坂玲名さんが「私たち新入生は先輩方が築きあげてきた伝統を守り新しい歴史を作るため努力を惜しまないことを約束します」と誓いのことばを述べ、教職員紹介が行われました。今年度の町立学校は、南小学校児童が15人、北小学校の児童が16人、双葉中学校の生徒が12人の計43人で新年度がスタートしました。





▲教職員の紹介



▲教科書並びに祝品授与



▲誓いのことば



▲歓迎のことば

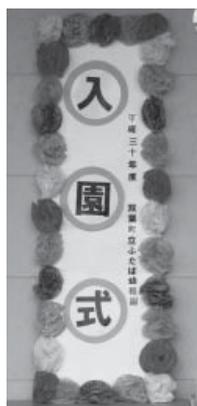


▲校長先生

ご入園おめでとうございます



# ふたば幼稚園入園式



4月6日、町立学校の入学式  
のあと、同敷地内のふたば幼稚園  
で入園式が行われました。  
新入園児が保護者と手をつな  
いで入場し、在園児が元気に園  
歌を斉唱しました。新入園児は  
新入園児呼名では戸惑った様子  
を見せていましたが、泉田淳園  
長から一人ひとり名前を呼ばれ  
ると元気に返事をして「毎日元  
気に幼稚園にきてくださいね」  
という呼びかけに対し、手をあ  
げて大きな声で返事をしていま



◀在園児による歓迎のことば

した。続いて館下明夫教育長、  
伊澤史朗町長、岩本久人町議  
会副議長が祝辞を述べました。  
歓迎のことばでは在園児が「皆  
さんが来るのを楽しみに待っ  
ていました」と声をそろえて大  
きな声で新入園児を歓迎しま  
した。新入園児は5歳児クラ  
スが1人、3歳児クラスが3人  
で、今年度は在園児と合わせる  
て9人で園生活をスタートしま  
した。

# 町職員の人事異動

平成30年4月1日付けで異動がありました。  
( )内は旧職名等です。

## ◆新規採用職員

▽健康福祉課 永山有紀子

▽建設課 武田純一

▽健康福祉課 島崎善一

▽ふたば幼稚園 山田綾子

▽教育総務課 白石亮佑

## ◆昇格・昇任・異動

### ◎いわき事務所

▽議会事務局局長 志賀公夫

(生活支援課長)

▽教育総務課長 橋本仁(健

康福祉課長兼青年婦人会館

長)

▽戸籍税務課長 高橋秀行

(教育総務課長)

▽生活支援課長 鈴木健一

(建設課・主幹兼課長補佐

兼用地調整係長)

▽健康福祉課長兼青年婦人会

館長 大浦富男(健康福祉

課・課長補佐兼国保年金係

長)

▽住民生活課長 中野弘紀

(産業課・課長補佐兼商工

労政係長)

▽建設課・課長補佐兼復旧復

興係長 関根浩二(建設課・

課長補佐兼建設係長)

▽戸籍税務課・課長補佐兼戸

籍係長 大浦寿子(戸籍税

務課・総括主任主査兼戸籍

係長)

▽建設課・課長補佐兼用地調

整係長 中里俊勝(総務課・

主任主査兼管財係長)

▽総務課・課長補佐兼行政

係長兼管財係長 相樂定徳

(総務課・主任主査兼行政

係長)

▽秘書広報課・課長補佐兼秘

書広報係長 橋本靖治(秘

書広報課・主任主査兼秘書

広報係長)

▽産業課・主任主査兼商工労

政係長 志賀寿三(戸籍税

務課・主任主査兼賦課係長)

▽健康福祉課・主任主査兼国

保年金係長 鶴沼浩二(生

活支援課・主任主査兼総務

係長(埼玉支所)

▽戸籍税務課・主任主査兼賦

課係長兼管理徴収係長 横

山敦(住民生活課・主任主

査兼住民支援係長)

▽建設課・主任技査兼建設係

長 藤本隆登(建設課・主

任技査)

▽復興推進課・原子力対策係

長兼賠償対策係長 富澤和  
績(復興推進課・主査)  
▽戸籍税務課・主査 吉津雄  
一郎(教育総務課・主査)  
▽教育総務課・主査 堤愛子  
(健康福祉課・主査)

▽総務課・副主任主査 西頼子(秘

書広報課・副主任主査)

▽健康福祉課・副主任主査 村山

翔太(教育総務課・副主任主査)

▽総務課・副主任主査 大島由久

(健康福祉課・副主任主査)

▽教育総務課・副主任主査 小林

達也(ふたば幼稚園・副主

任教諭)

▽産業課・副主任主査 岩城光隆

(健康福祉課・副主任主査)

▽住民生活課・主事 佐々木

理奈(健康福祉課・主事)

▽秘書広報課・主事 田中優

馬(総務課・主事)

▽健康福祉課・主事 酒井夕

紀(産業課・主事)

## ◆通年雇用職員

▽住民生活課・技能補助員

宇佐見久美子(生活支援課・

技能補助員(埼玉支所))

## ◎郡山支所

▽生活支援課・主幹兼郡山支

所長 朝田幸伸(生活支援

課・課長補佐兼生活支援係

長)

▽生活支援課・主任主査兼生

活支援係長 井上智成(生

活支援課・主査)

▽生活支援課・主事 高野洋

行(生活支援課・主事(い

わき事務所))

## ◎埼玉支所

▽生活支援課・副主任主査 田邊

修一(住民生活課・副主任主査)

## ◆通年雇用職員

▽生活支援課・技能補助員

白井明美(住民生活課・技

能補助員)

## ◆再任用職員

▽総括参事 武内裕美

▽住民生活課・主幹 松本信

英

## ◆任期付職員

▽建設課 佐々木次男

▽建設課 首藤郁夫

▽生活支援課 上遠野友見

## ◆福島県派遣職員

▽復興推進課・主幹 大淵晋

助

▽健康福祉課・主任保健師

砂場公子

## ◆神奈川県派遣職員

▽総務課・主任主査 渡部辰

幸

## ◆市町村派遣職員

▽復興推進課(建設課兼務)

金子剛(新潟県柏崎市)

▽秘書広報課 宮津健(富山

県黒部市)

▽教育総務課 東出亮大(福

井県敦賀市)

▽産業課 中瀬豪規(福井県

美浜町)

▽教育総務課 吉田千賀男

(茨城県北茨城市)

▽健康福祉課 生田目俊幸

(茨城県石岡市)

▽生活支援課 櫻井清(茨城

県かずみがうら市)

## ◆復興庁応援職員

▽健康福祉課 谷岡道子

▽健康福祉課 仲丸恵理

## ◆福島県人事交流職員

▽建設課・主査 佐藤佳恭

▽福島県土木部相双建設事務

所派遣 小林博幸(建設課・

技査)

## ◆退職(3月31日付)

▽松本信英(住民生活課長)

▽山下正夫(議会事務局長)

▽山本一弥(戸籍税務課長)

▽小林洋子(ふたば幼稚園・

園長補佐)

▽北崎周子(戸籍税務課・主

幹兼課長補佐兼管理徴収係

長)

▽細澤界(生活支援課・主幹

兼郡山支所長)

## 職員紹介

【市町村派遣職員】



宮津 健  
(黒部市)

【市町村派遣職員】



金子 剛  
(柏崎市)

【新規採用職員】



武田 純一

【新規採用職員】



永山 有紀子

【市町村派遣職員】



中瀬 豪規  
(美浜町)

【市町村派遣職員】



東出 堯大  
(敦賀市)

【新規採用職員】



山田 綾子

【新規採用職員】



島崎 善一

【市町村派遣職員】



櫻井 清  
(かずみがうら市)

【市町村派遣職員】



生田目 俊幸  
(石岡市)



【新規採用職員】



白石 亮佑

【復興庁応援職員】



仲丸 恵理

【神奈川県派遣職員】



渡部 辰幸

【福島県人事交流職員】



佐藤 佳恭

【福島県派遣職員】



大淵 晋助

## 平成30年度 町税の免除・減免等に関するお知らせ

双葉町では、東日本大震災及び原子力災害の被害を受けた納税義務者等の納付すべき平成30年度の各税目について、次のとおり免除・減免いたします。

### 免除・減免について

○対象税目…町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税

○免除・減免の内容

### 個人住民税

| 内 容              | 減免の割合               |        |
|------------------|---------------------|--------|
| 平成29年中の合計所得金額    | 500万円以下             | 10分の10 |
|                  | 500万円超<br>750万円以下   | 2分の1   |
|                  | 750万円超<br>1,000万円以下 | 4分の1   |
|                  | 1,000万円超            | 10分の1  |
| 居住住宅の損壊の程度(り災判定) | 全壊または大規模半壊          | 10分の10 |
|                  | 半壊                  | 10分の5  |

※上記のうち、2つ以上に該当する場合は、減免割合の大きいものを適用します。

### 法人町民税

東日本大震災及び原子力災害により休業等となった法人について、休業届の提出があった法人(平成30年1月から平成30年12月までに決算期を迎える法人に限る)…………均等割相当額の全額減免

### 固定資産税

- 土地・家屋に係るもの(町長が指定する区域にあるもの)…………全額免除
- 償却資産に係るもの(町長が指定する区域にあるもの)…………全額減免

### 軽自動車税

- 平成30年4月1日現在で、避難指示区域に放置された原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車、2輪の小型自動車…………全額減免

### 国民健康保険税

被保険者全世帯…………全額減免

※ご不明な点、ご相談については、下記までお問い合わせください。

#### 【問い合わせ先】

戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

## 平成30年度 軽自動車納税通知書について

平成30年度の軽自動車納税通知書を発送いたしましたので、お手元に届きましたら車両番号などの内容をご確認ください。

現金により納付される方は、コンビニエンスストアで納付できます。なお、納期限は5月31日(木)です。

### 【減免について】

※平成30年4月1日現在、避難指示区域内に放置された車両については、減免の対象となりますので、該当する方には、「軽自動車減免申請書」を送付いたしますので、いわき事務所戸籍税務課までお問い合わせください。

※減免となった車両については、事務処理後に納税証明書を送付いたします。車検期間が間近になっている場合は、お早目にご連絡ください。

※平成23年3月12日以降に登録された車両を除く原付二輪・農耕用車両などの「双葉町」ナンバー及び250CC以下のバイクについては、すでに減免として取り扱っております。

## 平成30年度 自動車の定期課税のお知らせ

**納期限は  
5月31日  
(木)です**

自動車税は、毎年4月1日午前零時現在で車検証上の所有者(割賦販売の場合は使用者)に課税されます。

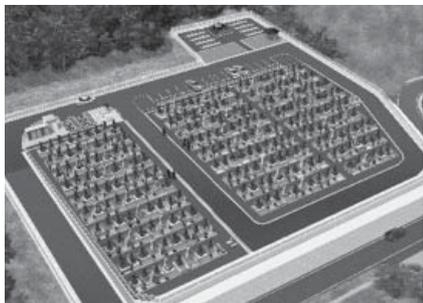
平成30年度自動車税の納税通知書は、5月8日(火)に発送する予定ですので、5月31日(木)の納期限までに忘れずに納付してください。

なお、避難先等への郵便物の転送を希望される方は、最寄りの郵便局へ「転居届」の提出をお願いします。

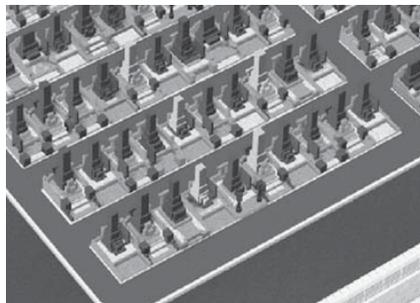
【問い合わせ先】 相双地方振興局 県税部課税課 課税第二チーム ☎ 0244-26-1127

## 「双葉町寺内前霊園」まもなく完成へ

昨年より長塚字寺内前で整備を進めておりました「双葉町寺内前霊園」がまもなく完成する運びとなりました。



(完成イメージ)



(区画墓の大きさは2m×3m)



(霊園整備は最終段階へ)

### ■ 霊園の使用料について

- 区画墓 全258区画 2m×3m  
 永代使用料 24万5000円  
 永代管理料 3万円（もしくは1年当たり1,500円）
- 納骨墓 全72区画  
 （お骨を1年毎の更新で最大10年間預けるお墓です）  
 1年間預り料金 3,000円 保証金3万円  
 ※10年以内使用の場合は、保証金3万円が返還されます。
- 永代墓  
 （お墓を継承する家族や親類が居なくなる方向けのお墓です）  
 使用料 6万円



分譲・販売方法が具体的に決まりましたら、町ホームページやタブレットを通じて町民の皆さまに詳しくお知らせいたします。

【問い合わせ先】 住民生活課 ☎0246-84-5206

## 応急仮設住宅の物品譲与のお知らせ（白河市郭内第一応急仮設住宅分）

住宅を再建（復興住宅入居含む）された方を対象に、白河市郭内第一応急仮設住宅で使用していた物置を無償でお譲りいたします。

所有者である福島県と物品譲与契約を結ぶことになるため、希望する方は、申請書と引き渡しまでの詳細等を記した案内文を送付しますので、下記問い合わせ先まで連絡してください。

なお、住宅を再建されていない場合や、すでに物品の譲与を受けている場合には、申請ができませんので、あらかじめご了承ください。

- 1 申請書等の請求期間：5月1日（火）～5月15日（火）
- 2 譲与対象者：双葉町にお住まいだった方で住宅を再建された方（復興公営住宅入居者を含む）
- 3 譲与対象物品：物置18台（単棟8台、2連棟3台、3連棟2台、4連棟5台）

【問い合わせ先】 郡山支所 生活支援課 ☎024-973-8090

平成30年度

## 双葉町生徒海外派遣事業参加者募集!

双葉町では今年度も、次代を担う中学生及び高校生を海外に派遣し、外国の自然、文化及び社会に触れるなどの直接体験を通して、国際理解及び国際感覚の基礎を培い、コミュニケーション能力を身に付けることを目的に、ニュージーランド及びオーストラリアへの海外派遣事業を実施します。  
 ※なお、派遣先の情勢の動向（テロ、天変地異、流行病等）により、中止となる場合があります。また、次年度以降の実施については未定です。

### ◆派遣日程

日本の夏休み期間  
 （8月3日～8月10日を予定）の8日間

### ◆派遣予定人数

中学生及び高校生20人以内  
 ※希望者が5人以下の場合は中止とします

### ◆応募資格要件（次の全ての項目を満たしていること）

- ・平成23年3月11日現在双葉町に住民登録があった者で、応募時点において中学校及び高等学校に在籍している者あるいは、応募時点で双葉町立中学校に在籍している者
  - ・心身共に健康で協調性に富み、計画に従って規律ある行動ができる者
  - ・本人が積極的に海外派遣を希望し、保護者の同意が得られる者
  - ・派遣のための事前研修会等（双葉町いわき事務所で実施）に参加できる者
  - ・帰国後、派遣体験を積極的に生かそうとする者
  - ・6月16日（土）に開催する事前説明会に保護者同伴で参加できる者
- ※過去の双葉町中学生海外派遣事業に参加したことがある生徒は参加できません。

### ◆参加負担金 50,000円

### ◆申し込み書類

- ・申込書（様式Ⅰ） ・学校長の推薦書（様式Ⅱ：開封厳禁とします）
  - ・保護者の承諾書（様式Ⅲ） ・誓約書（様式Ⅳ） ・希望者本人の住民票
  - ・作文：テーマは「海外研修を今後の自分の人生にどう生かすか」（A4判400字詰め横書き原稿用紙で2枚以上）とします。
- ※電話で希望を受けた後、個別に送付します。

### ◆派遣者の選考

- ・応募締め切り後に書類審査（5月中旬予定）を行い、派遣内定者には通知を送付します。

### ◆募集期間

平成30年5月11日（金）までの消印有効

※希望者には応募書類を送付しますので、ご連絡ください。

【問い合わせ先】 教育委員会 教育総務課 ☎ 0246-84-5210

## 平成30年度 双葉町幼稚園就園奨励費および給食費等補助制度について

双葉町では、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により被災した保護者の皆さまの経済的負担軽減のため、お子さんを幼稚園等に就園させている保護者の方に対して、入園料と保育料および給食費と教材費の一部について補助を行います。

### 【補助の対象となる方】

次の要件をすべて満たしている方

- 1：公立幼稚園、私立幼稚園、幼稚園型認定こども園（ただし、1号認定のみ対象）に通園している園児の保護者
- 2：1の園児及び保護者は、平成30年4月1日現在双葉町に住民登録をしていること

※6月初旬に3～5歳児のお子様がいる全家庭に案内を送付いたしますので、詳しくはそちらでご確認ください。

※満3歳児保育も対象となりますが、誕生日の月からが補助対象となります。お手数でも下記問い合わせ先までご連絡のうえ、資料の請求をお願いいたします。

【問い合わせ先】 双葉町教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210



## 「ふるさと帰還通行カード」 申し込み受付中

双葉町では、平成30年7月1日からの高速道路通行料金無料措置の適用方法の変更に伴い「ふるさと帰還通行カード」の利用申し込みを受け付けています。

カードは、申し込みからお手元に届くまで2カ月程度かかります。5月以降にお申し込みいただいた場合は、カードのお届けが7月以降となることがあります。

※7月1日以降は、カードを提示しないと高速道路通行料金が有料となりますので、ご了承ください。

### <利用申込方法>

- 対象となる方 震災時に双葉町に居住していた方で、双葉町が発行する被災証明書をお持ちの方
- 窓口での申し込み いわき事務所、郡山支所、埼玉支所の3カ所（受付時間8：30～17：15）  
※郵便による受付は、いわき事務所のみとなります。

### ■問い合わせ先

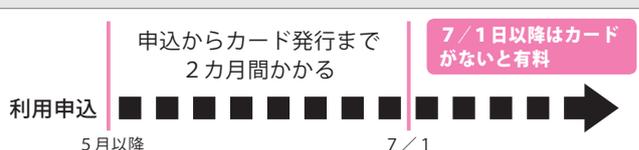
・カード発行に関すること NEXCO東日本お客さまセンター ☎0570-024-024

・申し込みに関すること

いわき事務所総務課（☎0246-84-5201）

郡山支所生活支援課（☎024-973-8090）

埼玉支所生活支援課（☎0480-53-7780）



## 福島さわやか行政相談キャンペーン【5月1日～31日】



松木 秀男さん  
(白河市在住・羽鳥)

- 総務省では、双葉町を担当する行政相談委員として、松木秀男さんを委嘱しております。
- 行政相談委員は、総務大臣が委嘱した有識者で、地域住民の皆さんから国の行政全般に関する意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。
- 5月1日(火)から31日(木)までの1カ月間は「福島さわやか行政相談キャンペーン」期間です。行政相談委員は電話や手紙などでも相談に応じていますが、キャンペーン期間中は次の場所で相談所を開設しますので、お気軽にご利用ください。

### 相談所を開設します

**日時** 5月17日(木) 午前10時～正午

**場所** 双葉町郡山支所 1階 会議室(郡山市朝日1丁目20-2)

【連絡先】 松木 秀男 ☎090-5238-9959

福島行政監視行政相談センター ☎024-534-1101

## ◆◆ 6月1日は、人権擁護委員会が施行された日です ◆◆

昭和23年、政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌24年6月1日に人権擁護委員法が施行されたことにより、人権擁護委員制度が誕生しました。平成30年は、人権擁護委員制度70周年にあたります。

法務省及び全国人権擁護委員連合会は、人権擁護委員法が施行された日を記念して、毎年6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、6月1日を中心に、人権擁護委員が皆さまの町で特設人権相談所を開設して人権相談に応じたり、全国的な啓発活動を実施しています。

6月1日(金)は双葉町いわき事務所にて、10時から15時まで特設人権相談所が開設されます。相談は無料で、秘密は厳守します。困りごとや悩みごとなどお気軽にご相談ください。

また、「人権擁護委員の日」に限らず、電話相談を実施していますので、悩みごとがありましたら下記のダイヤルにお電話ください。

- ・みんなの人権110番 ☎0570-003-110
- ・子どもの人権110番 ☎0120-007-110
- ・女性の人権ホットライン ☎0570-070-810

### 裁判所からのお知らせ

## 富岡町内における簡易裁判所の手続案内について

裁判所では、次のとおり、富岡町内において、手続案内及び受付事務を実施しています。

**1. 日時** 毎月第1、第3木曜日 午前10時30分から午後3時まで

**2. 場所** 富岡町文化交流センター「学びの森」

**3. 内容** 手続案内・受付事務

- ・建物の明渡し、お金の貸し借りや交通事故の損害賠償など、簡易裁判所で扱うことのできる民事事件手続の概要や申立方法の案内
- ・訴状、調停申立書、支払督促申立書など福島富岡簡易裁判所の管轄に属する民事事件の受付

なお、受付後の事件処理は、郡山簡易裁判所で行います。

【問い合わせ先】 郡山簡易裁判所 ☎024-932-5697 (ご不明な点は、お問い合わせください)

双葉ふれあいクラブからのお知らせ

## 第5回双葉町民交流パークゴルフ大会



○日 時

6月2日(土) ※小雨決行

受付開始時間：午前8時30分

開会式：午前9時

競技開始：午前9時30分

閉会式：午後1時30分

○場 所

いわき市鮫川河川敷公園コース  
(植田公民館裏側)

○申込締切… 5月25日(金)

○参加費… 無料

○対象者… 小学3年生以上の方

○定 員… 100人程度

○競技方法… 36ホール ストロークプレー

○表 彰… 男女別1～3位、  
ホールインワン賞、ブービー賞、  
最高年齢賞、最少年齢賞

○その他… ・閉会式前に昼食の時間をとりますので、お弁当(500円)の斡旋も行います。  
希望される方は参加申し込み時にご注文ください。代金は当日受付でお支払い  
ください。

・保険については、参加者全員にふれあいクラブで加入しているイベント共済を  
適用しますが、それ以上の補償はありませんので、あらかじめご了承ください。

子どもから高齢者の方まで楽しめるスポーツ  
です。道具をお持ちでない方にはふれあいクラ  
ブで準備しておりますので、初心者の方もあ  
気軽にご参加ください。

【申し込み・問い合わせ先】

NPO法人双葉ふれあいクラブ

☎ 0246-38-3325

FAX 0248-21-6188

## ワイワイ YoY交流会 in 伊香保温泉

～ スタンプラリーで群馬を満喫～

開催日 5月13日(日)～14日(月)  
1泊2日

集合時間 午前11時 集合場所 渋川駅

コース1日目：伊香保観光協会～卯三郎こけし見学～  
水沢うどんのお昼ごはん～  
石段街(射的等)～宿へ

2日目：オプション(榛名神社・  
おもちゃと人形自動車博物館等)

宿泊場所 伊香保温泉「森秋旅館」  
(☎0279-72-2601)

参加費 15,000円程度を予定しています

参加予定者には、個別に案内しておりますが、参加  
希望の方は下記問い合わせ先にご相談ください。



昨年のYoY交流会の様子

【問い合わせ先】 千吉良高志(三字) ☎080-5568-7091

## いわき市立錦小学校との給食交流会・調印式 - 町立小学校 -



平成30年度から双葉町立学校の給食はいわき市立勿来学校給食調理場より提供されています。このことに先立ち、3月15日にいわき市立綿小学校校長室において清水敏男いわき市長と伊澤史朗町長が協定書に調印を行いました。

調印式終了後、同校体育館において綿小児童と町立小学校児童が給食を食べながら交流する給食交流会が行われました。給食交流会は平原浩子錦小学校長のあいさつで始まり、続いて、錦小学校代表児童により「今日のメニューは人気のツナごはんと地元の野菜を使ったなっこそ汁、ミニトマトと鶏からあげです」と給食が紹介されました。会食が始まると最初は緊張していた児童にも笑顔が見られ、おかわりをする姿も見られました。最後に町立小学校を代表して脇坂玲名さんが感想を述べ、4月からの給食を楽しみにしている様子でした。



## ◆◆ 双葉中学校（平成4年度卒）同級会 ◆◆



3月17日（土）、いわきワシントンホテル椿山荘において平成4年度卒双葉中学校同級会を開催し、恩師2人を含めて27人が参加しました。同級生が集まるのは3年ぶりのことで、今回の同級会の開催を楽しみにしていました。

開会のことばのあと、東日本大震災の犠牲者に対して黙とうを捧げ、代表者のあいさつ、恩師の今野

祐三先生と吉田均先生のあいさつと続きました。乾杯後は昔の話に花が咲き、にぎやかな雰囲気では進行しました。今はそれぞれ違う環境に身を置いていると思いますが、みんなが集まるとまるで中学生の頃に戻ったかのように話が弾みました。最後に震災後の町内風景や母校双葉中学校の映像などのDVDを鑑賞し、お開きとなりました。



## 双葉町行政区長会総会

双葉町行政区長会は3月17日、いわき市の新舞子ハイツで総会を開き15人が出席し、平成29年度の活動および収支決算報告について、満場一致で承認されました。活動報告の中で石田翼会長は、相馬市の復興状況を視察し、相馬市の復興の速さと内容の充実に感心したことや、福島民報社を訪問し新聞社が復興へ大きく貢献している事実を知ったことなどを述べました。

総会議事に先立ち、伊澤史朗町長から「町復興当面の取り組みと計画」と題して講演があり、町の復興に向けた取り組みについて詳しく説明があり、各区長が町の復興に対して理解を深めました。

## 三字行政区

## 総会・交流会



眼下に広がる太平洋を眺めながら、3月24日、25日の両日、三字行政区の総会と再会の集いを2年ぶりにいわき市の小名浜オーシャンホテルで開催しました。

県内外をはじめ、遠くは首都圏近郊から29人が参加しました。

総会に先立ち、伊澤史朗町長から今後の双葉町復興ビジョンなど町政全般に渡ってのお話をいただきました。

続いて、町建設課職員・環境省職員より双葉スマートインターター竣工後の中間貯蔵施設への搬入経路について説明がありました。

総会は、山口清一副区長の進行により震災後各地で亡くなられた171人の御霊のご冥福を祈り、黙とうを捧げた後、議事に入りました。

千吉良高志区長からのあいさつと、平成28年度以降の町と三字地区の経過報告、続いて会計担当の加村範良さんから会計報告が提示され、一部規約の改正を含め原案どおり承認されました。

続いて、役員改選に入り、審議の結果、新区長に伊澤和夫さん、新副区長には佐藤八州夫さんが承認されました。

今回も皆さんの将来への不安と無念の思いが強く感じられる総会でした。

幸いに三字地区には前沢婦人会による女宝財踊りの伝統芸能が息づいており、全国各地より役者が集い、震災以降も毎年の出演に称賛の拍手を頂いております。今後も半谷八重子さんのリーダーシップによる組織の継承を願いました。

「再会の集い」は、新区長の伊澤和夫さんの乾杯の音頭により時間無制限の交流会となつて盛り上がりました。

翌日は「また会うべ」「元気でなあ」と次回の再会を胸に、今回都合により参加できなかった方々が次は是非参加いただけるようにと願いながら帰路につきました。

## 長塚一行政区



## 総会・交流会

3月25日、26日、長塚一行政区  
総会・交流会が昨年度と同じいわ  
き市の海辺のホテルで開催され、  
32人が集まりました。

伊澤史朗町長より双葉町特定復  
興再生拠点区域復興再生計画や、  
双葉駅西側地区一団地の復興再生  
拠点市街地形成施設等について説  
明をいただきました。

震災・原発事故後から7年が経  
過する中で、一時立ち入りで長塚へ  
戻るたびに荒廃する町や自宅を見  
るにつけ、沈んだ気持ちで避難先  
に戻って来ます。

そのような中で年に一度集う交  
流会が、長塚にいた頃を懐かしみ  
癒されるひと時です。  
人が集えば、お互いに元気が出  
ます。

今まで長塚一行政区総会・交流  
会に参加されていなかった方も来  
年の総会・交流会にぜひ参加され  
るよう心待ちにしています。



## 長塚二行政区



## 総会・交流会

3月23日(金)24日(土)、湯本  
温泉「吹の湯」において、長塚二行  
政区の総会・交流会を開催し、30人  
の方々が避難先から参加しました。  
総会に先立ち、震災等で亡くなら  
れた方および避難中に亡くなられ  
た方々のご冥福をお祈りし、黙とう  
を捧げました。

総会では初めに、原中良博区長が  
あいさつし、参加へのお礼を述べ、続  
いて伊澤史朗町長に、町の現状と復  
興計画を交えたあいさつをいただき  
ました。

続いて環境省から「除染・建物解  
体工事等について」を説明してい  
ただき、さらに東京電力から会社とし  
て取り組んでいる活動の案内につい  
て、話がありました。

その後、議事に入り、議長を武  
内裕美さんにお願ひし、平成29年  
度の事業報告および会計報告を審  
議し、原案どおり承認されました。  
続いて役員改選が行われ、新区長  
に武藤康広さん、新副区長に作田  
伊久雄さん、その他、監事、委員  
を選任し、総会を終了しました。

交流会は、菅野博紀町議会議員の  
乾杯の音頭で始まり恒例の近況報  
告、やがて酒が入るほどに和やかな  
雰囲気となり話も弾み、カラオケな  
ど、時が経つのを忘れ、楽しいひと  
時を過ごしました。名残りを惜しみ  
ながら、武藤新区長の締めで交流会  
を閉じました。

翌日は、玄関のロビーで「来年も  
また会いましょう」を合言葉に別れ  
を惜しみ、それぞれ避難先に帰って  
行きました。

## 平成30年度 国家公務員「税務職員採用試験」(高校卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。

国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか？

### ○受験資格

1. 平成30年4月1日において高校卒業後3年を経過していない者及び平成31年3月までに高校を卒業する見込みの者
2. 人事院が1に掲げる者に準ずると認める者

### ○受験申込受付期間

平成30年6月18日(月)から6月27日(水)まで

### ○受験申込方法

受験申込みはインターネット申込みとする。

国家公務員試験採用情報NAV I (<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)

### ○第1次試験日

平成30年9月2日(日)



【試験に関する問合せ先】 仙台国税局人事第二課試験研修係 ☎ 022-263-1111 内線3236  
人事院東北事務局 ☎ 022-221-2022

## 双葉町社会福祉協議会

### ～ 5月健康運動教室、社協サロンのお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

| 会場  | 問い合わせ・申込先            | 開催月日   | 時間          |
|---|----------------------|--------|-------------|
| <b>健康運動教室</b> (内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等) ※祝日を除く |                      |        |             |
| 北幹線第二応急仮設住宅集会所<br>(福島市飯坂町平野字内小原田8-1)          | ☎ 080-6033-1196 (小林) | 毎週 木曜日 | 13:30～15:00 |
| 南東北総合卸センター2階第6会議室<br>(郡山市喜久田町卸1丁目1-1)         | ☎ 024-973-5291 (開発)  | 毎週 水曜日 | 13:30～15:00 |

## 社協サロン (内容：健康体操、健康講話、相談、趣味、生きがいづくり交流等)

※社協サロンでは昼食を準備しますので事前に申し込みをお願いします。

|   |                      |          |             |
|---|----------------------|----------|-------------|
| 白河市産業プラザ 人材育成センター<br>(白河市中田140)         | ☎ 080-6290-5930 (小泉) | 5月8日(火)  | 10:00～14:00 |
| サンライフ福島<br>(福島市北矢野目字檀ノ腰6-16)            | ☎ 024-973-5291 (開発)  | 5月25日(金) | 10:00～14:00 |
| かしま交流センター 2階大ホール<br>(南相馬市鹿島区横手字川原186-1) | ☎ 0246-38-7105 (渡辺)  | 5月31日(木) | 10:30～14:30 |

【問い合わせ先】 双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎ 024-973-5291

## ◆◆◆ 双葉地域の 医療体制整備に向けて ◆◆◆

今回から各町村で発行の広報紙に、双葉地域等における福島医大ふたば救急総合医療支援センターの活動をはじめ、生活習慣病の予防について、【健康寿命シリーズ】を数回に分けて掲載し、皆さま方の健康増進に向けた情報を発信いたします。

今回の初版は「ふたば救急総合医療支援センターの活動」、「福島県ふたば医療センター附属病院紹介」、「健康寿命シリーズ①」を掲載します。

### ふたば救急総合医療支援センターの活動

双葉消防本部富岡消防署 榎葉分署に活動拠点を設け、平日の日中、医師、看護師、救急救命士が駐在し、消防本部の119番通報に応じて、医師による初期治療が必要な場合に、ドクターカー・救急車に医師等が同乗、救急現場に出動し、薬剤投与、受入病院紹介、ドクターヘリの要請判断等の活動を行うことにより、ケガ人や急病人の救命率の向上・病院収容後の予後改善の活動を実施しました。



試験運用開始から今年の2月末までの出動件数は、180件で、医師が初期治療を開始するまでにかかった時間は、28年18・3分、29年21・2分と、駐在前より約54分〜57分短縮しました。

次に、広域的な総合医療支援の活動として、地域包括ケア会議、訪問診療、訪問活動及

び町村職員、住民等対象の各種研修会を開催したほかに、昨年の8月からは、疾病管理・健康管理等医療相談、服薬管理、終末期医療相談、認知症軽減対策、アルコール依存症等対象者の未治療者・重症化予防対策として、町村の地域包括支援センター保健師さんと連携のもとに、医師が直接自宅を訪問し個別指導を県内各地で実施しています。

今年2月までに19名を実施し、約7割の方が医療機関へ受診・受診予定・受診意向となっております。

### 福島県ふたば医療センター附属病院紹介

双葉地域の医療体制整備が課題とされているなかで、福島県が今年4月に、富岡町に24時間体制で救急医療を提供する「福島県ふたば医療センター附属病院」が開設しました。



- 当センターの診療方針  
附属病院の標榜科（医療法等に基づく診療科）は「救急科」・「総合内科」の2診療科となります。
- 受入の対象患者は、次のとおりです。
- 救急車で搬送された患者・夜間・休日や祝日など地域の医療機関が開院していない時間帯に急な発熱や腹痛等により自分で来院した患者・地域の医療機関で対応困難な患者や入院等の措置が必要と判断され紹介された患者など

- 関連する医療支援
- 在宅復帰に不安のある患者に対して、医師、看

護師をはじめリハビリスタッフ等が協力し、在宅の復帰を支援します。

地域の医療機関（かかりつけ医）からの依頼に基づき、訪問診療・訪問看護等を実施します。地域包括ケア推進の一環として、関係機関と緊密に連携し、未治療者・重症化予防対策や認知症への対応を支援します。

職員や外来講師による健康講座・研修会等を通じて、地域住民や復興事業従事者の疾病予防及び健康増進を支援します。

双葉郡町村保健担当や地域医療機関スタッフによる情報交換・事例検討等を通じて、地域のネットワークを強化します。

救急医療や糖尿病指導など、地域医療機関スタッフを対象とした研修や意見交換等の地域医療機関スタッフ研修を実施します。

### 健康寿命シリーズ①

福島県における健康増進への取り組みについてー東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による災害の影響を受け、多くの県民が、今なお災害復興住宅等において避難生活を余儀なくされるなど、生活環境の変化等による心身の健康の悪化が懸念される状況にあります。

本県では、「第二次健康福島21計画」を策定し、全国トップレベル健康長寿県を目指す【健康寿命の延伸】と県内地域間の【健康格差の縮小】を柱とした「すこやか、いきいき、新生ふくしま」の創造を基本目標に掲げ、生活習慣病の発症予防や重症化予防、生活の質を向上させる取り組みとともに、健康づくり体制の推進を展開することとしています。

特に健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間、いわゆる「健康寿命」の延伸の実現や、生活習慣の改善による健康を増進し

発症を予防する「一次予防」及び検診等の実施により病気を早期発見・早期治療する「二次予防」さらに、疾病の重症化を予防する「三次予防」の推進について、ご家庭、学校、職場、地域などが一体的かつ、積極的な健康づくり実践活動を展開することが必要です。

【健康づくりの主体】

- 「県民」健康づくりは、個人の自覚と実践が基本となることから、自ら健康的な生活習慣を追究し実践することが重要です。
- 「家庭」家庭は、個人の生活の基礎単位であり、乳幼児期から生涯を通じて健康的な生活習慣を身につけるための役割を果たすことが重要です。
- 「地域」人々の健康は、日常の生活習慣や社会的な仕組みに影響されることが大きいことから、地域を構成する人々が自ら、地域の健康問題を明らかにして、健康を阻害する社会環境を改善する活動を実践して、より健康な地域づくり・街づくりをすることが期待されています。
- 「学校」学校には、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を補うための役割が期待されていることから、児童・生徒や学生に対して、健康について学習する機会や適切な行動を自ら選択しているような学習の場を提供することが重要です。
- 「職域（企業）」職域（企業）は、その構成員の健康づくりを支援するため、労働環境や職場のコミュニケーションの改善等を通じて産業保健の向上を図ることが重要です。

【生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底】

- がん・循環器病（脳血管疾患及び心疾患）対策においては、発症と重症化を防ぐためにも一次予防（発症予防）と二次予防（早期発見・早期治療）の徹底をする必要があります。
- 糖尿病は、神経障害、網膜症、腎症などの合併症を併発するとともに、脳血管疾患や心疾患、歯周病、足病変等の発症リスクを増大させ、寿命や生活の質などの大きな影響を及ぼします。
- 発症予防のためには、適正体重の維持、身体活動の増加、過食や死亡等の過剰摂取を控える等の適切な食事等、生活活動改善による危険因子の除去に努める必要があります。
- 一次予防と、二次予防の徹底をする必要があります。
- COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で、咳・痰・息切れを主症状として緩やかに呼吸障害が進行するものです。
- このCOPDという疾患は、県民の健康増進において極めて重要な疾患にもかかわらず、新しい疾患名であることから、十分に認知されていません。
- 休養・こころの健康  
こころの健康は、人がいきいきと自分らしく生きるための重要な要素です。人生の目的や意義を見出し、主体的に人生を選択すること

第二次健康ふくしま21計画 概要版

(平成25年度～34年度)



も大切であり、こころの健康は生活の質に大きく影響されることから、こころの健康にとって欠かせないことであり、休養が日常生活の中に適切に取り入れられた生活習慣を確立する必要があります。

●飲酒  
飲酒習慣は健康に悪影響を及ぼし、肝機能障害や、糖尿病、心臓病等の身体的健康問題のほか、脳神経系に作用して、さまざまな神経症状、障害をきたしたり、事故や犯罪に繋がるなど、家庭や職場に対しても大きな影響を及ぼします。

【広報に関する問い合わせ先】  
公立大学法人福島県立医科大学 復興推進課  
電話(024)547-11686 佐藤まで  
お問い合わせください。

## 環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇輸送について（4月14日現在） 双葉町内中間貯蔵施設保管場等への輸送の状況は下記のとおりです。

| 搬出市町村 |      | 搬入量 <sup>m<sup>3</sup></sup> （袋）※ | 搬出市町村 |     | 搬入量 <sup>m<sup>3</sup></sup> （袋）※ |
|-------|------|-----------------------------------|-------|-----|-----------------------------------|
| 浜通り   | 双葉町  | 1,820                             | 中通り   | 川俣町 | 1,383                             |
| 中通り   | 二本松市 | 1,183                             |       | 国見町 | 746                               |
|       | 福島市  | 814                               |       | 大玉村 | 28                                |
|       | 本宮市  | 774                               |       | 計   | 6,748                             |

※フレキシブルコンテナ等1袋の体積は1<sup>m<sup>3</sup></sup>と換算しています。

▶ 4月28日～5月6日までの期間は、輸送を休止いたします。

### ◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 調査設計課 ☎024-563-1293

## 消防署からのお知らせ

### 山火事に用心！ 火の用心！

春を迎え暖かくなるにつれ、山へ入る機会も多くなることと思います。この時期の山では、枯葉や枯草が多くなることに加えて、空気の乾燥など火災発生の危険性が高くなります。

山火事・野火の多くは人災で、たき火やたばこの投げ捨てなどが主な原因です。一人一人が気をつければ防ぐことができる災害なのです。

山林を火災から守るため、皆さまのご協力をお願いいたします。



### 放火対策を徹底しましょう！

近年「放火・放火の疑い」は火災割合の多くを占めています。今回は放火されない、させないポイントを紹介します。放火火災を未然に防ぐには皆さんの力が必要です！地域全体で協力し、火災のない町を目指しましょう！



- 家の周りは**整理整頓**しておく
- 燃えやすいものを**放置**しておかない
- 家、物置などは**鍵**をかける
- 地域のみんなで**見守**る

平成30年度 全国統一防火標語決定 **【忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認】**

**火事と救急は  
119番**

< 消防署連絡先 >

- 浪江消防署 ☎0240-34-4111
- 富岡消防署 ☎0240-25-2119



# 双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた  
お便りの一部をご紹介します



「双葉の風だより」では全国に避難されている皆さんから寄せられたお便りの一部を紹介しています。文芸作品や随想など、お便りをお待ちしています。



## 【送付先】

〒974-8212  
いわき市東田町二丁目19-4  
双葉町秘書広報課

- 早咲きの 桜花はなに頬寄せ 目を細め
- 肌寒し 負けず咲かせた 八重椿
- 春を待つ 野菊ツクシも 目を覚し
- 梅の香の 漂う小路 おぼろ月
- 梅の香に 添えて見頃の 水仙花
- 春の陽は 桜桃梅梨 花急せかす

武内 恒雄（長塚二）

## 【随想】加須ふれあいセンターの 交流会に参加して

去る3月8日、加須ふれあいセンターの誘いを受け、いわきから20名がバスで出発しました。1日中雨降りでしたが埼玉に着き、旧騎西高校が目にとまり30人近くの人が同じ部屋に雑魚寝し仲良く暮らしたことが走馬灯のように思い出され胸がいっぱいになりました。

ふれあいセンターに着くと埼玉在住の多くの双葉の方たちが雨の中迎えてくださり、なつかしく喜び合いました。特にNPO法人の富沢さんには可愛がっていただきました。また皆さんとは婦人会イベントとたくさん学んだことなど話はずきません。白河からも標葉さんだん太鼓の方たちが演奏で会を盛り上げてくださりとても喜ばれました。また、たくさんの手料理が並び昔なつかしいじゅうねんぼたもちなどもいただき、話は尽きることなく続きました。

遠く離れても双葉は1つ、復興半ばの我が町ですが、せめて私たちが健康で長生きできることが復興への後押しになればと思います。話は尽きませんが、元気でまた会う日を楽しみに埼玉を後にしました。

南場 信子（新山）

## 人のうごき3月分

敬称略

### お誕生おめでとうございます

| 氏名                        | 生年月日  | 保護者    | 行政区 |
|---------------------------|-------|--------|-----|
| 藤田 眺 <small>ひかる</small> 瑠 | 2月28日 | 隆之・奈緒美 | 長塚一 |
| 檜村 樂 <small>がく</small>    | 3月9日  | 勇仁・美帆  | 浜野  |
| 岩川 笑 <small>えん</small> 歩  | 3月10日 | 安奈     | 長塚一 |
| 小堀 悠 <small>ゆう</small> 太  | 3月17日 | 壘・雪香   | 長塚二 |

### お悔み申し上げます

| 氏名    | 年齢 | 死亡日   | 行政区 |
|-------|----|-------|-----|
| 守家 壯  | 85 | 3月13日 | 鴻草  |
| 鈴木 喜久 | 91 | 3月16日 | 三字  |
| 本林 昭一 | 85 | 3月22日 | 羽鳥  |

## 双葉町民の避難状況

（平成30年3月31日現在）

- ・福島県内に避難されている方 4,071人
- ・福島県外に避難されている方 2,838人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

記録として次の世代へ

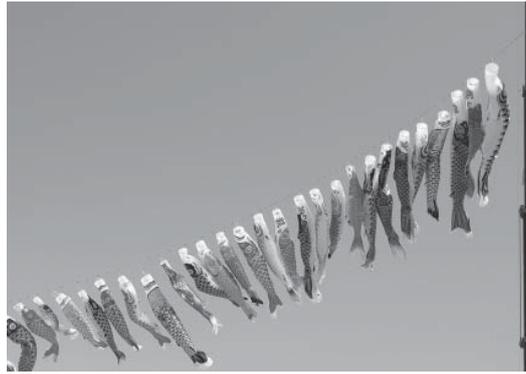
ふるさと

# 絆通信

第61号



ずっと、ふるさと。双葉町。



## 双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



## 「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

掲載する文章は、株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202

※ふるさと絆通信の通算号数を修正しました

たなか ぶんしょう  
田中文昭さん

(郡山)



●避難先●  
埼玉県加須市



### 家の跡取りとして地元に残れる環境

幼い頃の記憶を辿ると、自宅近くを通り福島第一原発に向かう道路では、早朝から何台ものダンプカーが砂ぼこりを上げて行き交っていた様子が思い出されます。原発事故による避難、そして中間貯蔵施設の整備が進む中、かつてのそうした雑踏は、夢か幻のように思ってしまうこともあります。

私が高校を卒業した昭和50年代初頭、すでに第一原発では1〜3号機が営業運転を開始し、同4〜6号機と第二原発の建設も始まっていました。そのため、原発関連の会社に就職する同級生もおりましたが、私は浪江日立化成工業(株)に就職しました。当時はすでに、都会への集団就職や出稼ぎでなければ職に就けない環境ではなく、家の跡取りとして、地元でサラリーマンをしながら田畑を耕し、兼業農家として生活することができるようになっていました。

### 三女の義務教育が終わった日

震災当日、三女が双葉中学校の卒業式を迎えました。年度末で仕事が多忙なため、式への出席を妻に任せ、その朝、私はいつものように出勤しました。会社に向かう途中、これで娘たち全員の義務教育が終わるのかと安堵したような気持ちでしたが、大地震の発生、そして原発事故による避難で、それは「先の見えない不安」に変わってしまいました。

### 知らない土地での生活再建

避難指示で町を離れ、川俣町の避難所を経て東京都内の親類宅を目指しました。道中宿泊した宇都宮市内にあるホテルの方に給油可能なスタンドまで連れて行っていただき、目的地まで乗り切ることができました。

幸い、避難による一家離散は避けられましたが、次女と三女の編入学先探し、高齢の両親にとつて負担の少ない生活拠点の確保など、知らない土地での生活再建は容易なことではありませんでした。

### 無事に子育てを終え

中間貯蔵施設の整備により自宅への帰還が難しい中、畑での野菜づくりや花植えが好きな両親にとつては満足な環境ではありませんが、加須市に当面生活するための家を建てました。

避難後、勤務先の事業再開に伴い、千葉県への単身赴任を経て、平成27年に早期退職しましたが、何もしない日々には違和感を覚え、ハローワークの紹介により、加須郵便局で配達の仕事に就きました。当初、道を覚えるのに苦労しましたが、お世話になっている地域に恩返しするつもりで従事しました。

この春、三女が大学を卒業し、無事に子育てを終えることができました。故郷での老後は叶わぬ夢となりましたが、両親共々、元氣な「老々生活」を送りたいと思います。



子どもたちとともに

いとう れな  
伊藤 礼奈 さん

〔旧姓：大久保〕

(新山)



●居住先●  
さいたま市緑区

### 走ることとの出会い

幼い頃から走るのが速く、小学6年のとき県大会に出場し800m走で優勝しました。中学に進んでからは特設駅伝部に所属するなど、中学1・2年と高校1年から3年まで、双葉町チームのメンバーとして、ふくしま駅伝に出場しました。一方、震災後、十分な練習ができない中、ふくしま駅伝に出場している双葉町チームの勇姿に、家族一同、元気をいただいています。

### 監督からの声かけに救われた

中学に入学してから、腰を疲労骨折して以降、体の故障が続きました。腰という文字の旁が「要」であるように、腰を痛めたことが影響して足などを怪我したため、競技成績は振るいませんでした。走ることが好きで得意だった私にとって厳しい状態でしたが、中学3年のとき、県立原町高校陸上部の監督から、陸上を続けなかと声をかけられ同校に進学しました。進路の選択にあたり、陸上競技から離れることも考えていた中、そうした声をかけられたことは救われたようなものでした。

### スポーツに携わりたい気持ち

高校入学後、駅伝で東北大会に出場したこともありました。体の限界を感じていた一方、将来にわたってスポーツに携わりた

いという気持ちはありましたが、大学や実業団などに身を置くことは諦め、高校卒業後は東京にあるスポーツ専門学校に進みました。その後、スポーツ用品メーカーの(株)デサントに就職して、震災時は西武池袋本店の売場で勤務にあたっていました。

### 結婚に際して故郷へ

原発事故で実家や故郷は戻れない存在となりました。その後、友人の紹介で夫と知り合い交際がスタートしました。私が双葉町の出身であることを話すと、すぐに位置や状況を理解してくれました。当時、夫は故郷を話題にすることについて、とても気を遣ってしまったようですが、縁に恵まれ、平成24年12月に結婚しました。結婚にあたり夫婦で故郷に向かいましたが、夫は初めて目にする現実に言葉を失ったようでした。

### いつの日か子どもたちに故郷の姿を

結婚後、平成27年に長女が、平成29年に長男が誕生し親子4人で暮らしていますが、両親にとっては、私の結婚や孫の誕生など、避難生活が続く中でも悪いことばかりではないのかなと思っています。

子どもたちが成長し、将来、環境が確保されれば、私の故郷を見せてあげたいと考えています。そして、親子で故郷の大地を走ることができればと思っています。

レ・コケット  
Les coquettes

よしだ けんいち  
代表 吉田 健一 さん  
(三字)



●避難先●  
茨城県日立市



### 就職後数年で試練に直面

地元の高校を卒業後、町内の工業団地にある会社に就職しました。入社から約3年後、経営危機になり退職しましたが、幸い、同じ団地内にある別の会社に転職できました。当時は現在ほど働き口が多い時代ではなかったため、転職がうまくいかなければどうなっていたのか分かりませんが、社会に出てから初めての試練となりました。

### 試練から挑戦へ

その後、最初の就職先で知り合った妻と結婚するなど、故郷で平穏な日々を送っていました。そんなある日、美容師をしている姉から、美容師を目指すのはあきらめたのかと尋ねられました。確かに美容師になりたいとは思っていましたが、歳を重ねるうち現実を優先する生活になっていました。しかし、姉の言葉にふと立ち止まり、年齢的にも最後のチャンスかもしれないと思ったため、妻を説得し会社を辞め、夫婦で仙台に転居して、私は美容室でアシスタントとして働きながら通信制の美容専門学校に通いました。

勤務先では、すでに美容師免許を持った20歳前後の若者と一緒に働いていましたが、年齢より実力が問われる世界がゆえに、ゼロを通り越してマイナスからの出発という気持ちで向き合い、29歳で免許を取得し美容師となりました。

### 避難そして独立開業へ

美容師になってから、仙台市内の美容室に数年間勤務し、子育ては故郷でと思い双葉町にUターンして、被災するまで大熊町内の美容室に勤務していました。

町を離れ各地を転々とし、勤務先が日立市内で避難開業することになり同市に移りました。その後、勤務先はいわき市内に再移転することになりましたが、日立市で子どもも育つなど生活基盤ができていたためこの地で独立し、平成26年10月に自分の店を開店しました。

同業者も多く商売の環境として厳しい部分もありますが、お客様一人ひとりとじっくりお付き合いさせていただく姿勢でおります。また、妻が行うネイルアートサロンも併設しております。常磐自動車道の日立北インターや、JR常磐線の小木津駅からも遠くないので、ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。



〒319-1416  
茨城県日立市田尻町1-44-28  
【電話・FAX】0294-33-7423  
【e-mail】les\_coquettes@icloud.com  
【営業時間】9:00~18:00\*  
※最終受付・日曜日のみ17:30  
【定休日】月曜日・毎月2日間不定休  
<当店は予約優先となっております>

# ぼくの夢・わたしの夢



いわき市立平第六小学校 6年 <sup>くま</sup>熊 <sup>しゅうと</sup>柁斗くん(石熊)

ぼくは、しょう来、水泳の選手になりたいと思っています。毎週2日教室に通っています。日本泳力検定の4級にも合格しました。

次の3級からは50mときよりのものびるので、いっしょうけんめい練習して次の検定試験で合格したいです。その次の2級はメドレーになるので苦手な平泳ぎを特にがんばりたいです。

いろいろな大会に出場してメダルやしょうをとって有名な選手になりたいです。

またオリンピックにも出場してメダルもとりたいです。

今年の春は、全国的に桜が早く咲いたようです。7ページに掲載したいわき市勿来町の双葉町サポーターセンターひだまりでは3月29日にはすでに桜が咲いていました。

今月の表紙は、町立小・中学校入学式の集合写真です。新入生は、数週間前に卒園式・修・卒業証書授与式で会った時よりずっと成長しているように感じました。

入学式では、北小学校の校長先生が式辞の中で「人の幸せは3種類あると言います。してもらう幸せと、自分でできる幸せ、誰かに何かをしてあげられる幸せです」という話をされています。誰かに自分に当てはめて、今は広報紙を制作するにあたって、町民の皆さまに助けていただいたり、周りの諸先輩方がサポートをしてくれることに幸せを感じていますが、いつかは自分の力で誰かの役にたてるようなそんな仕事をしたいと感じ、日々の業務に邁進していこうと新年度の決意を新たにしました。

## 編集後記

## 今月のベストスマイル



郡山行政区総会・交流会に参加した、  
こだまたつろう児玉達郎さん(左)とたなかだいすけ田中大右さん(右)の笑顔です。



## 連絡先

○いわき事務所  
〒974-8212  
福島県いわき市東田町二丁目19-4

☎ 0246-84-5200  
FAX 0246-84-5212  
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所  
〒963-8024  
福島県郡山市朝日一丁目20-2

☎ 024-973-8090  
FAX 024-933-5120  
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所  
〒347-0105  
埼玉県加須市騎西36-1 加須市騎西総合支所2階

☎ 0480-53-7780  
FAX 0480-53-7266  
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ  
<http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」  
<http://futabanowa.wordpress.com/>

携帯サイト  
<http://www.town.fukushma-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町復興ポータルサイト  
<http://www.futaba-fukkou.jp>

